

公正競争確保の在り方に関する検討会議 説明資料

在日米国商工会議所

2021年1月28日

- **NTTは長年にわたり日米通商問題の大きな課題である。**
- **NTTのグループ再編について**

なし崩し的なグループの再編に関して、市場における公正競争へのしかるべき検討が行われずに自由に再編が検討されていることに対して大きな懸念がある。

NTTを再編し、GAFAと同等の日本の組織を作るためにNTTの再編を認可するという議論は、根拠もなく、市場の自由な競争を阻害する。

日米はパートナーとして、開かれ、相互運用可能な、信頼できるかつ、安全でグローバルなデジタル経済環境の実現とネットワークインフラストラクチャーの構築を行うことを示した日米合意があるが、それに反するのではないかとの懸念がある。

- **調達について**

NTTの調達は日米通商問題の長年の課題であり、さらにNTT標準の確立、新規参入を阻害、価格の高止まりなどの問題も引き起こしているように見受けられるが、どのような経緯でNTTグループ全体としての調達が認可されたか、ご説明いただきたい。

- **ベンダーロックインについて**

NTTグループという巨大なグループの誕生により、インフラだけでなくソリューションまでロックインが拡大されてしまう可能性に対する大きな懸念がある。また、ベンダーロックインの排除に関する記述のある「2020年の骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針2020について）」との整合性についてのより丁寧な説明が必要と考える。

- **NTT東西の光ファイバーについて**

NTT東西の光ファイバーは、多くの事業者にとって核となる非常に重要なインフラであるため、それらボトルネック設備の開放が担保されるべきである。